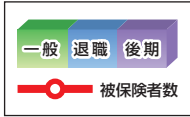
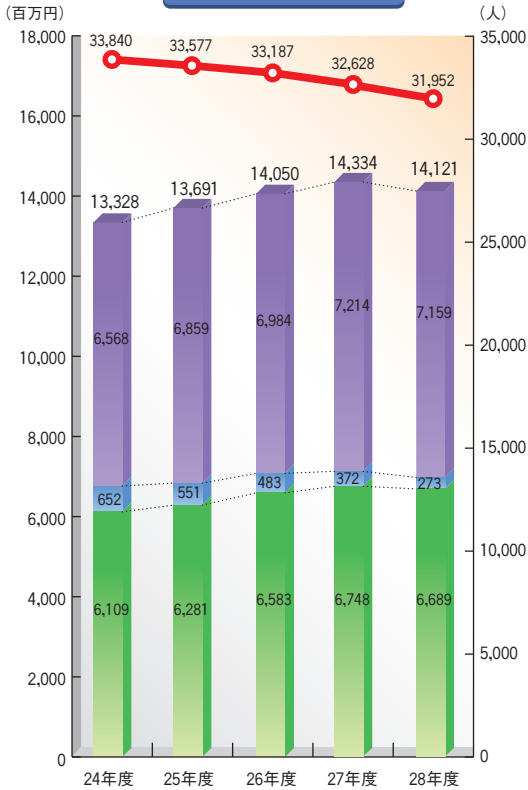


真岡市

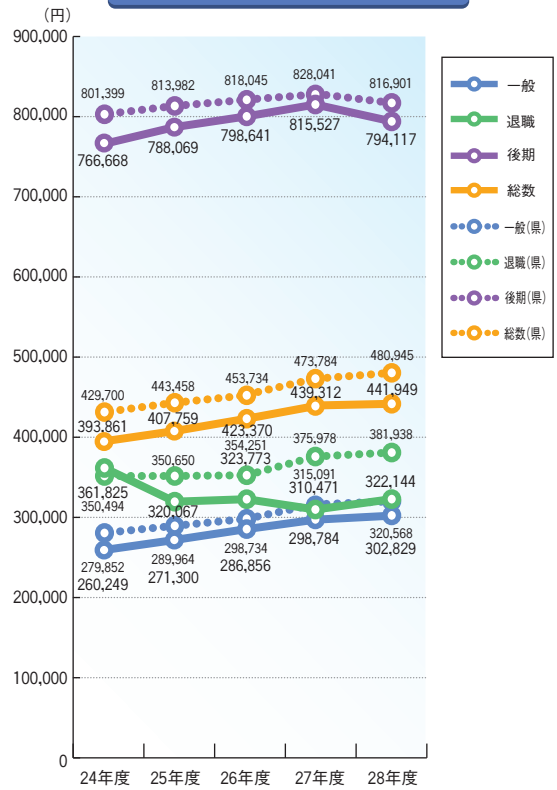
真岡市



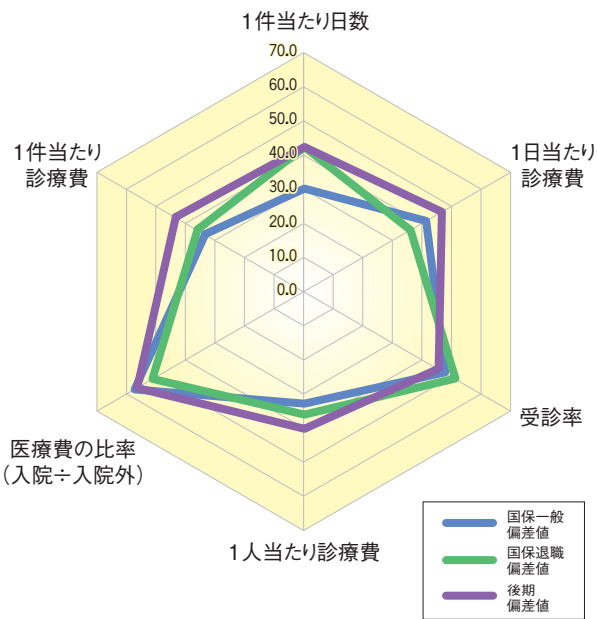
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

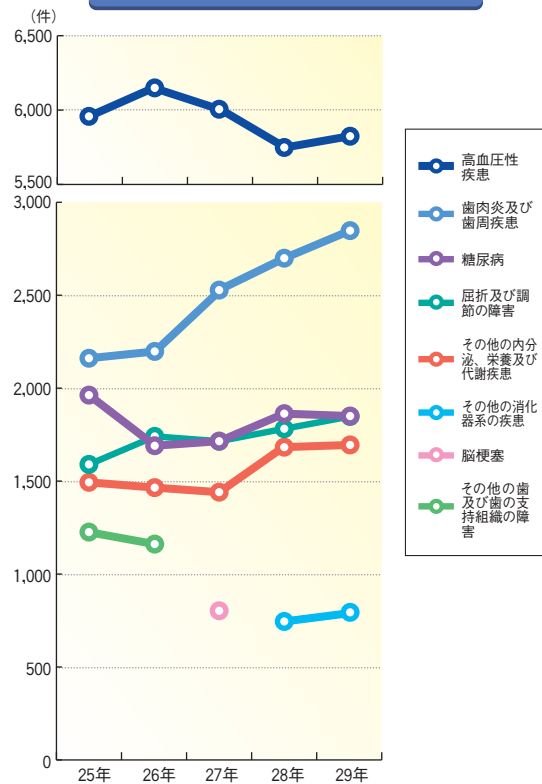


平成28年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

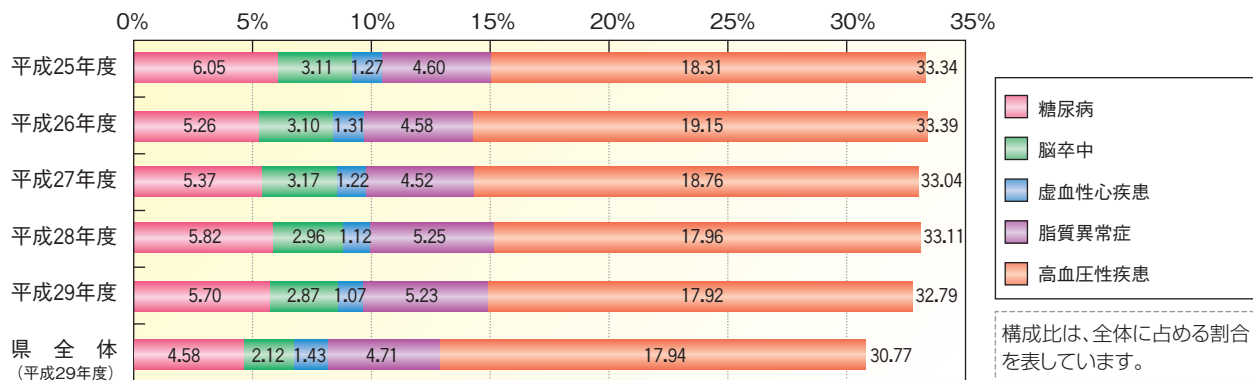


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

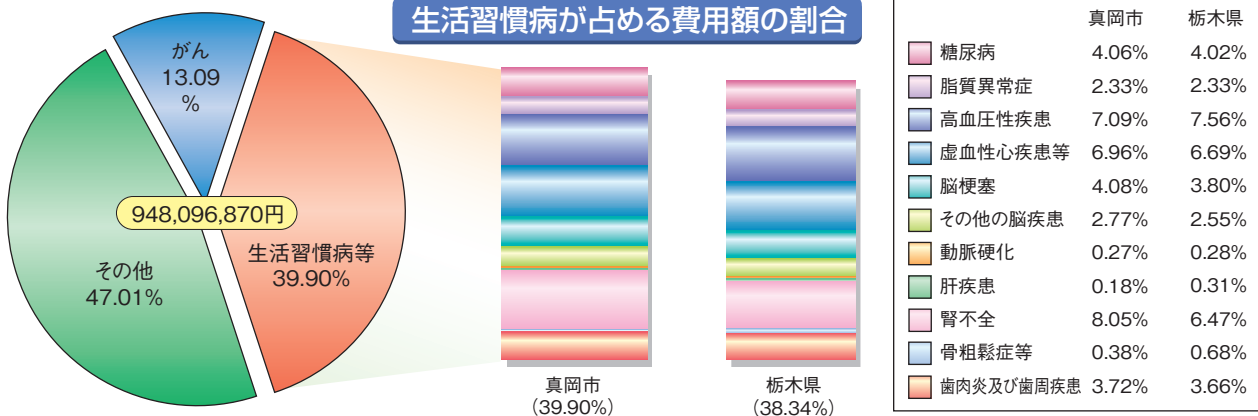
多受診疾病上位6位の推移



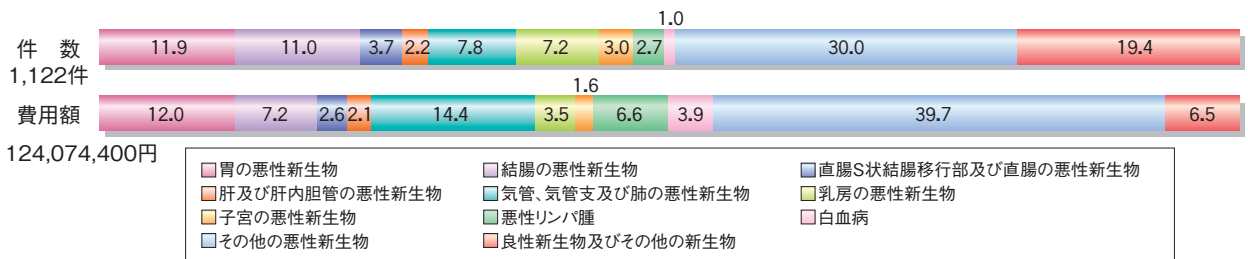
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



真岡市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般6,689,499千円(99.1%)、退職272,856千円(73.4%)、後期7,158,568千円(99.2%)で、全体では14,120,923千円(98.5%)と減少している。()は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は31,952人で、内訳は一般22,090人、退職847人、後期9,015人である。前年度と比較すると全体で97.9%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は441,949円(2,637円増)、一般は302,829円(4,045円増)、退職は322,144円(11,673円増)、後期は794,117円(21,410円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、医療費の比率の項目が、すべての法別において県平均を上回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成29年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位屈折及び調節の障害、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の消化器系の疾患で、中でも2位の歯肉炎及び歯周疾患は増加傾向にあり、平成25年と比べ費用額は1.33倍となっている。

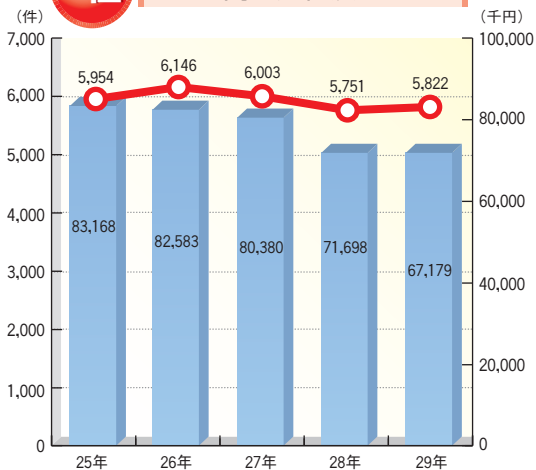
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ、虚血性心疾患、高血圧性疾患以外の3疾病において高い構成比になっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が948,096,870円で、がんが13.09%、生活習慣病等が39.90%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、腎不全8.05%、高血圧性疾患7.09%、虚血性心疾患等6.96%、となっている。

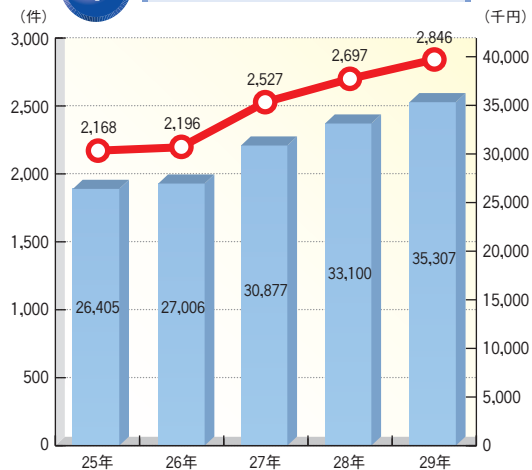
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

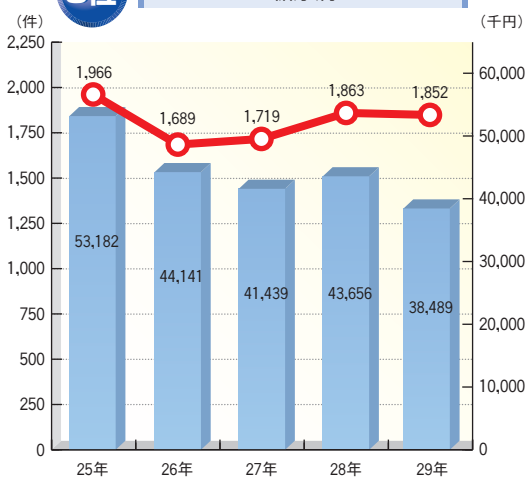
1位 高血圧性疾患



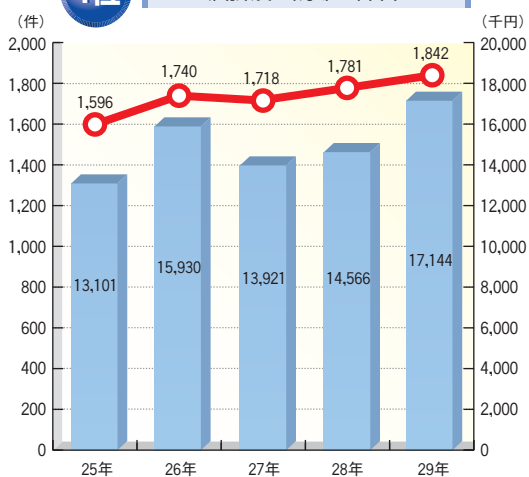
2位 歯肉炎及び歯周疾患



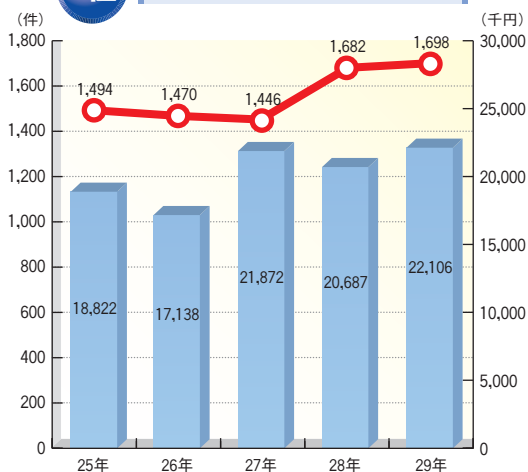
3位 糖尿病



4位 屈折及び調節の障害



5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位 その他の消化器系の疾患

